

市職員(右)に野菜を販売する利用者ら



# 深層水トマト好評

あすなろ  
倶楽部 夏野菜販売始める

**滑川** 滑川市上小泉の就労継続支援A型・B型事業所、あすなろ倶楽部は5日、利用する知的障害者らが作った夏野菜の販売を市役所で始めた。昨年からの取り組みで、滑川沖の海洋深層水で育てた「深層水トマト」など9種類が15分で完売し、好評だった。

同倶楽部は農業を通じて利

用者の自立を促し、社会との結び付きを深めてもらうことに取り組む。ことしは20種類以上の野菜を栽培している。利用者2人と施設職員らが

正午から1階にコーナーを設け、甘くて味が濃いという深層水トマトを1袋200円、キュウリやナスを同100円で販売。市職員が次々と買い求めた。就業体験「14歳の挑

戦」中の滑川中学校生や、支援する「ほたる会」の島川実代表が販売を手伝った。

利用者は「たくさん売れてうれしい」と笑顔を見せ、北村憲幸施設長は「市が力を入れる深層水トマトを一層PRしたい」と話した。販売は夏の間、収穫量を見ながら火曜日に行っていくきたい考え。